

5 サニーレタスの品種比較試験

試験の目的

旭川青果物生産出荷協議会サニーレタス部会では「レットフラッシュ」等を基幹品種としていますが、色合いや夏期の葉先枯れの発生に関する課題を指摘されています。

そこで、現行品種の課題を解消し得る品種を模索する品種比較試験を実施しました。

関係先

旭川青果物生産出荷協議会 サニーレタス部会（以下「部会」と表記）

試験作期等

	作期 1	作期 2	作期 3
は種	5月12日	6月12日	7月25日
定植	6月2日	6月30日	8月9日
栽植密度等	条間 27cm×株間 27cm=1,370 株/a, 千鳥植え, 黒色有孔マルチ使用 雨よけハウス栽培, 2反復		

供試品種（3作期共通）

No.	名称	販売元	No.	名称	販売元
標準	レットフラッシュ	寺岡種苗園	4	晩抽サンレッド	ナント種苗
1	ディープパープル	住化農業資材	5	レッドインパルス	みかど協和
2	サマーサージ	タキイ種苗	6	UC-052	横浜植木
3	サマールージュ	タキイ種苗	7	UC-902	横浜植木

調査方法

(1) 調査項目

- ア 生育調査：発芽状況，定植時苗質，収穫期，生育日数，障害
- イ 収量調査：総収量（調製前・調製後），規格内収量，規格別株数割合
- ウ 特性調査：草丈，平均一株重，芯高，葉色，着色部分，作業性，草姿

(2) 評価

現行の基幹品種の一つである「レットフラッシュ」よりも優れた特性を有すると認められた品種を有望品種としました。その際に特に重視した特性は次の2項目です。

- ア 夏期に生じやすい障害（主に葉先枯れ）の発生が少ないこと。
- イ 市場評価の高い色合いを呈すること。

試験結果

標準品種よりも色合いが良く，葉先枯れの発生が少ない品種は「UC-902」でしたが，同品種の色合いは赤色が極めて濃く，現行の基幹品種との差異が非常に大きいことから，有望品種として部会に推奨することを見送りました。

ただし，一部良好な特性を示した供試品種も見受けられたことから，将来の有望品種の候補として部会において検討するための情報を提供することを目的として，次に示す品種を「参考品種」と位置付け，その品種特性を紹介することにしました。

参考品種 ※写真配列 [左：在圃状態，中央：収穫株調製後（上），右：収穫株調製後（横）]

(1) UC-052



ア 長所

- ・葉先枯れ発生株がやや少ない。また，生育の揃いが良い。

イ 短所

- ・市場評価性を損なうほどではないが，葉色が若干淡く，赤色の着色部分も小さい。
- ・高温期に外葉の葉柄基部が褐変し，調製時の摘葉枚数が多くなる株が発生した。

(2) レッドインパルス



ア 長所

- ・葉先枯れ発生株が少ない。また，色合いは標準品種に近いが，緑色は若干明るい。
- ・株が開かず収穫の作業性が良い。また，草丈が小さく規格袋に収まりやすい。

イ 短所

- ・生育日数が標準品種よりも1～2日程度長くなる。

(3) UC-902



ア 長所

- ・赤色の発色は標準品種を含む他の供試品種と比較すると抜群に良好であった。
- ・葉先枯れ発生株がやや少ない。

イ 短所

- ・生育日数は標準品種よりも1～2日程度長くなる。
- ・留意点として，部会の現行品種との色合いの差異が大きいことから，部会の基幹品種としての導入にあたっては特に慎重な検討が必要である。